

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和5年8月30日同時配布

国総研資料第1251号

『港湾における気候変動対策の新たな可能性の提案 ～浚渫土砂の有効活用による炭素貯留とブルーカーボン 生態系の創出の有効性～』を刊行します

本資料では、カーボンニュートラルポート（CNP）政策のより確実な推進を目的として、浚渫土砂の有効活用を通じた安定的な封じ込めにより、含まれる有機炭素の貯留効果を港湾における新たな気候変動対策として提案しています。封じ込めによる炭素貯留に加え、ブルーカーボン生態系（BCE）の基盤材を浚渫土砂の有効活用先とすることで BCE による炭素貯留効果が増加し、これらの対策が CNP の実現と残余排出の吸収に大きな意義を持つことが明らかとなりました。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 先行研究の整理
- 第3章 日本の港湾環境政策とその特徴
- 第4章 浚渫土砂の有効利用による炭素貯留
- 第5章 浚渫土砂の有効活用と BCE 創出による炭素貯留のポテンシャル
- 第6章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先 URL : <https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1251.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部
港湾新技術研究官 杉村 佳寿 (内線: 3320)
TEL: 046-844-5019 E-mail: ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp